

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取県立倉吉農業高等学校

重点項目	県外生徒募集	提出日	令和4年4月22日
------	--------	-----	-----------

1 学校目標	
<p>農業教育をはじめとして、あらゆる教育の場において豊かな感性を育て、基礎基本を大切にして知の修得に努め、自らの可能性を信じて不断の努力を惜しまない生徒の育成を図るとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>1. 基礎・基本の定着と学力の向上 2. 基本的生活習慣の確立 3. 地域連携と特色ある教育活動 4. 進路意識の向上と進路保障 5. コミュニケーション能力の向上</p>	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>1. 地域や企業と連携しながら、各科のみならず農業全体の魅力づくりを進め、情報の発信を県内だけでなく、県外にも積極的に行う。</p> <p>2. これまでとは異なった新しい学校生活様式のもとで、本校の特色ある授業や広大で充実した施設等を知ってもらうため、可能な限り、学校施設の開放や地域交流を進め、本校の理解につなげていく。</p> <p>3. 中学生一日体験入学、中学校教員農業体験を実施すると共に、地域みらい留学フェスタに参加することで、県内だけでなく、県外にも広く本校をアピールする。</p> <p><数値目標> 県外中学生が本校の魅力を感じる教育内容の具体的な指標</p> <p>1. 資格取得の延べ合格者数 300 名以上（R2年度実績 238 名※1月末現在） ※R2 年度は新型コロナウイルス感染症対策のためいくつかの資格検定が中止又は延期になった。</p> <p>2. 難易度の高い資格の合格者前年度以上（R2年度実績 農業技術検定2級1人、測量士補1、危険物取扱者乙種4類2人、アグリマイスター【プラチナ1名・ゴールド3名・シルバー4名】）</p> <p>3. 感染対策を施した上で異世代との交流会参加者の確保及び内容の充実 参加延べ人数 100 人 ※R2 年度は新型コロナウイルス感染症対策のために実施した回数は2回</p> <p>4. 感染対策を施した上で学校施設開放に 30 名以上参加 ※R2 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため開放せず。</p>	<p>1 県内外を通じて多くの行事や取組について取材を受けメディアに発信できた。また、今まで以上に資格取得を積極的に奨励し、実際に多くの生徒が取得できたのは大きなアピールになった。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の中止や縮小をせざるをえなかった。その中で可能な限り交流を行い地域に対して学校の紹介や農業高校に対する理解は進んだ。</p> <p>3 体験の場を設けることで中学生や中学校教員に対して学校理解を促進することができた。また、地域みらい留学フェスタ（オンライン開催）に参加し、中学生や保護者に対して学校をアピールすることができた。（県外入学生4名）</p> <p><数値結果></p> <p>1. 資格取得者延べ278名が合格。</p> <p>2. 高難易度の資格取得（農業技術検定2級2名、危険物取扱者乙種1名、アグリマイスターシルバー3名・ゴールド2名・プラチナ2名等）</p> <p>3. 異世代交流64人（はなの学校、おうまの学校を実施。田んぼの学校は中止）</p> <p>4. 学校施設開放（乗馬交流）</p> <p>5. 中学生体験入学は、生徒73名、保護者・教員59名の参加があった。秋のオープンスクールでは24名が参加（生徒、教員、保護者）</p> <p>6. 中学校教員農業体験はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p>

<p>5. 感染対策を行った中で中学生体験入学（中学生参加）200名以上</p> <p>※R2年度は新型コロナウイルス感染症対策により中止した。（但し、10月のオープンスクールには112名内中学生は66名参加）</p> <p>中学校教員農業体験（農業体験者）20名以上参加</p> <p>※R2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。</p>	
<p>3 実施事業</p>	
<p>【高等学校課事業】</p> <p>事業名：鳥取高校魅力化推進事業</p> <p>事業概要：スマート農業</p> <p>ドローンやアグリノートをはじめ最新 ICT 機器を導入し、的確且つ効率的な農業管理を行った。</p> <p>事業概要：地域みらいフェスタへの参加</p> <p>県内だけでなく、県外のイベント（オンライン含む）に参加することで、学校の魅力を広く県外にもアピールし、生徒募集に繋げた。</p> <p>【独自事業】</p> <p>事業名：農業の魅力づくり発信事業（全学年対象）</p> <p>事業概要：J F S - B規格認証取得（食品）、舗装実習等（土木・測量）に加えて、R3年度から実施した倉吉駅北口「創作花壇」・南口「おもてなし庭園」の製作等を通して各科の魅力づくりアップを図り、各企画に取り組むことで農業関連資格の取得に対する意欲を高めた。</p> <p>事業名：開かれた学校づくり推進事業（2・3年対象）</p> <p>事業概要：「新しい生活様式」を意識して、地域の学校や保育園、児童センター、及び地元の高齢者や障がい者等を招いて水田、花や野菜、乗馬等を題材に交流して交流する。生徒のコミュニケーション能力向上や地域における農業に対する理解の促進に繋げる。</p> <p>事業名：定員充足推進事業</p> <p>事業概要：昨年出来なかった中学生一日体験入学を実施。</p>	
<p>4 総合所見（成果・評価）</p>	
<p>令和3年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため事業を中止あるいは縮小しなければならなかった。</p> <p>すべての指標において数値目標を下回った。数値目標を期待や希望値にするだけでなく、さらに具体的な施策を打ち出し成果につなげる必要がある。</p> <p>事業の実施に当たっては感染症対策を十分に行ったうえで、農業高校であることを活かした体験や交流を積極的に行い、多くの地域の人や学校関係者及び中学生に学校を認知してもらう場を提供できた。また、東京 FM のラジオ番組を活用しホームページやY o u T u b e等で本校の魅力について全国に情報発信を行うとともに、地域みらい留学イベントにオンライン参加したことにより、今春4名の県外入学生があり、その効果を実感した。</p>	